

概要書

1 所在地 大阪市 区 町1丁目1番（地番）  
 大阪市 区 町1丁目1 1（住居表示）

2 調査面積 4,218.5m<sup>2</sup>（敷地面積：4,218.5m<sup>2</sup>）

調査目的を記載(作成例は法第3条の場合)

3 調査契機 有害物質使用特定施設の使用廃止に伴い、土壤汚染対策法第3条第1項の規定に基づき、土壤汚染状況調査を実施した。

所見は土壤汚染の可能性の有無を結論付けて記載(所見「不明」は不可)

4 土地利用履歴

年代	土地の利用方法	土壤汚染の可能性等の所見
昭和初期～昭和35年	対象地は田である。	汚染のおそれはない。
昭和35年4月～平成21年3月	株式会社大阪事業所が操業。	ジクロロメタン並びにふっ素及びその化合物による汚染のおそれがある。
平成 年 月～	事業所廃止以降、未利用。	汚染のおそれはない。

5 調査概要

- (1) 調査期間 平成 年 月 日～ 日：地歴調査（資料調査、聴取調査、現地調査）  
 平成 年 月 日～ 日：測量（位置出し）  
 平成 年 月 日～ 日：現地調査（土壤ガス試料採取・分析、土壤試料採取）  
 平成 年 月 日～ 日：公定法分析

多数の場合は特定有害物質の分類別に項目数も記載

(2) 調査項目 ジクロロメタン、ふっ素及びその化合物

土壤溶出量基準不適合の場合を例示

「汚染の深さ」：措置の対象となる深さ方向の範囲を記載

(3) 調査結果（基準不適合項目）  
 <土壤溶出量>（mg/L）

項目	指定基準 (第二溶出量基準)	調査深度 (G.L.-m)	検出最大値 (G.L.0~0.5m)	検出最大値(全試料中) (G.L.-m)	汚染の深さ (G.L.-m)	基準不適合区画数 /全単位区画数	第二溶出量基準 不適合区画数 /全単位区画数
ジクロロメタン	0.02 以下 (0.2 以下)	0～6.5	0.031	0.041 (0.75)	0～2.0	2 / 42	0 / 42
ふっ素及び その化合物	0.8 以下 (24 以下)	現況地表面 (0～0.5)	2.5	2.5 (0～0.5)	未確定	5 / 42	0 / 42
		地下配管 (0.75～1.25)	4.1	4.1 (0.75～1.25)	未確定	3 / 42	0 / 42

<土壤含有量>  
 全て基準適合

6 基準不適合範囲 面積：715m<sup>2</sup>

推測を含む、推測も出来ない場合は「不明」と記載

7 汚染原因 事業所操業時における有害物質の漏洩と推測

8 措置概要 未定

現時点の土地利用方法、地表面の様子（＝直接摂取の有無）等を記載

9 備考

(1) 現状：事業場跡地（建屋現存）  
 敷地周辺に飲用井戸はなく、地表面はすべてアスファルト等で覆われており、土壤汚染による健康被害のおそれはない。

予定を含む

(2) 今後の土地利用：未定

実施時期について記載(予定を含む)

(3) 周辺住民等への周知：平成 年 月 ～ 日に実施予定